

この問題用紙は
持ち帰りできません

第13回

一般社団法人環境プランニング学会認定

環境プランナー・ベーシック資格試験

問題用紙

2015年6月6日(土)

(13時50分説明開始 制限時間2時間)

受験番号	
受験者氏名	



一般社団法人環境プランニング学会

1. 注意・確認事項

- (1) 問題用紙は、4～17ページ（問題は両面）です。
また、解答用紙は別紙（1枚で、両面解答）です。
- (2) 問題用紙・解答用紙は持ち帰りできません。試験終了とともに回収いたします。
- (3) 答えは必ず解答用紙の「所定の欄」に記入してください。問題用紙に記入しても採点の対象になりません。
- (4) 解答用紙には、鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（ボールペンは使用不可）
- (5) 間違って記入の場合は、跡が残らないように消しゴムで消してください。
答えが二つ以上読み取れる場合は、採点の対象になりません。
- (6) 解答欄は、1つの記入欄に1つの答えを記入してください。二つ以上記入の場合は採点の対象になりません。
- (7) 試験開始後1時間以上経過したら、退出が可能です。着席のまま手を上げて静かにお待ちください。試験官が問題用紙・解答用紙を回収した後、静かに退出してください。但し、試験終了時刻の10分前からは退出できません。終了時刻まで静かにお待ちください。
- (8) 試験問題の構成は以下の通りです。記入漏れがないように願います。
合計点が70点以上で合格となります。

2. 試験問題の構成

問題番号	問題の形式	小計
第1問	○×問題	各1点×10問＝10点
第2問	文中の空欄に適切な語句や組み合わせを選び、その記号を記入する問題	各1点×10問＝10点
第3問	適切または不適切な記述を選択し、その記号を記入する問題	各1点×10問＝10点
第4問	適切または不適切な文章を選択し、その記号を記入する問題	各2点×5問＝10点
第5問	文章の[]にはいる語句を選択し、その記号を記入する問題	各1点×20問＝20点
第6問	文章の[]にいれる適切な語句を考え、語句を記入する問題	各1点×20問＝20点
第7問	記述式問題：語群にある語句を使用し、文章を作成する問題	各10点×2問＝20点
合計		100点

第1問（各1点×10問）

次の①～⑩までの文章で、内容が正しいものには○、間違っているものには×を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

- ① 環境基本法では、公害を環境保全上の支障の内、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下及び悪臭と定めている。これには、人間の活動によるもの以外に、火山活動などの自然災害に伴うものも含まれる。
- ② 日本では、高度経済成長がはかられた 1950 年代から 1960 年代に多くの公害問題が発生したが、その主な原因は生産を増大させるために化石燃料を大量に使用し、有害化学物質を使用したことによる。
- ③ 気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）は、本年（2015 年）11 月 30 日よりフランスのパリで開催される予定であり、主な議題は京都議定書の成果の確認である。
- ④ 食品廃棄物を減らし、廃棄物の肥料化・飼料化等を求めている「食品リサイクル法」は、食品の製造・加工・販売業者から排出される廃棄物及び家庭から出る生ごみを対象としている。
- ⑤ 1956 年、熊本県水俣市で水俣病の発生が確認されたが、水銀による健康被害を防止するため、国際条約「水銀に関する水俣条約」が 2013 年に採択された。
- ⑥ 廃棄物のリサイクルは、一般的には最終処分場で行われている。
- ⑦ SWOT 分析は、企業の戦略立案を行う際に使われる分析手法であり、S は組織の強み、W は弱み、O は機会、T は脅威を示している。
- ⑧ バイオマスエネルギーとは、エネルギー源として利用できる有機性資源によるエネルギーのことであり、廃棄物系と栽培作物系がある。
- ⑨ 燃料電池の燃料は水素であり、水素と空気中の酸素による電気分解の逆の反応により発電する装置である。燃料である水素は、空気中にそのままの形で存在し、生成も容易であることから、今後の活用が期待されている。
- ⑩ コンパクトシティとは、市街地のスケールを小さく保ち、歩いていける範囲を生活圏とすることにより、効率的で良好なコミュニケーションをベースとし、持続可能な都市づくりをめざしたものである。

第2問（各1点×10問）

次の①～⑩までの問いの [] の部分にあてはまる最も適切な語句を、
1つ選びその記号を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

- ① 日本の環境行政全般に対する執行責任は環境省の大臣に帰属するが、エネルギー関係は
業界の指導的立場にある [] が主に担当している。

(ア) 国土交通省
(イ) 経済産業省
(ウ) 農林水産省
(エ) 財務省

- ② 製造業の中でも素材産業のエネルギー消費量は大変多く、製造業全体の約 [] を
占めている。

(ア) 3割
(イ) 5割
(ウ) 7割
(エ) 9割

- ③ 廃棄物は産業廃棄物と一般廃棄物に分けられるが、産業廃棄物の発生量は一般廃棄物の
発生量の約 [] である。

(ア) 2倍
(イ) 3倍
(ウ) 5倍
(エ) 8倍

- ④ 鉄鋼の生産法は大別して二種類あるが、鉄スクラップを利用して粗鋼をつくる方法を
[] と呼んでいる。

(ア) 電気炉法
(イ) バイヤー法
(ウ) 高炉－転炉法
(エ) ロータリーキルン法

- ⑤ 資源やエネルギーを1回だけ使って捨ててしまうのではなく、高いレベルから低いレベル
へ多段階で使用することを [] 利用と呼んでいる。

(ア) カスケード
(イ) マルチ
(ウ) リサイクル
(エ) ガスケット

⑥ コージェネレーションシステムとは、排熱を利用して、エネルギー効率を総合的に高めるシステムであり、一般的には [] と呼ばれている。

- (ア) 温熱供給
- (イ) 熱電併給
- (ウ) 内外燃併給
- (エ) 冷温水供給

⑦ 省エネルギー法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律）では、年間エネルギー使用量が原油換算で [] kJ 以上の工場・事業場を第1種エネルギー管理指定工場と定めている。

- (ア) 1,000
- (イ) 1,500
- (ウ) 2,000
- (エ) 3,000

⑧ 「統一省エネラベル」とは、比較的エネルギー消費量が多い製品「エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、[]、照明器具」の5機種について多段階評価や年間の目安電気料金等を示したものである。

- (ア) 電気洗濯機
- (イ) パソコン
- (ウ) 電気便座
- (エ) 電気温水機器

⑨ 温室効果ガスの濃度上昇による地球温暖化が懸念されているが、地球上に温室効果ガスが存在しなければ、地球の平均気温は約 [] となると言われている。

- (ア) 4℃
- (イ) 0℃
- (ウ) -8℃
- (エ) -18℃

⑩ 我が国の2011年度の物質フローによると、2011年度のインプット（総物質投入量）は約15.7億トンで、その内天然資源投入量は約13.3億トンであった。この年の廃棄物発生量は約5.6億トンであるため、同年の廃棄物に対するリサイクル率は約 [] となる。

- (ア) 18%
- (イ) 29%
- (ウ) 43%
- (エ) 54%

第3問 (各1点×10問)

次の①～⑩までの問いにあてはまる記述の記号を1つ選び、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

- ① 「水資源」について、最も適切な記述を1つ選びなさい。
- (ア) 地球に存在する水の内、淡水は約 5%しかなく、その内の約 7 割は極地の氷といわれている。
 - (イ) 日本の食料輸入で、仮想水輸入量が一番多い国はアメリカであり、二番目はオーストラリアである。
 - (ウ) 牛肉と豚肉を生産するために使用する水を比較すると、豚肉は牛肉の約 2 倍の水を使用している。
 - (エ) 世界で使用されている水の約 6 割は工業用水であり、今後発展途上国の使用量増加により、水資源の枯渇が懸念されている。
- ② 「日本の森林と水の豊かさ」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。
- (ア) 日本の森林は、温帯モンスーン気候であり、落ち葉の分解速度は熱帯雨林ほどではなく、表土は厚く発達する。
 - (イ) 表土は適度な保水性、排水性、保肥性があり、暑さ1 cmできるのに約 400 年かかるといわれ、「生態系のゆりかご」ともいわれる。
 - (ウ) ブナ林などの天然林は緑のダムと呼ばれる厚い表土層によって保水能力にすぐれており、洪水緩和効果も優れている。
 - (エ) 日本の森林は、第二次世界大戦後の経済復興に向け、木材資源確保のため多くの天然林である針葉樹が伐採され、広葉樹林に変貌した。
- ③ 「生物多様性の劣化」に関し、最も不適切な記述を1つ選びなさい。
- (ア) 生態系ピラミッドの構成は、生産者、分解者、消費者の順で高次となっていく。
 - (イ) 生物多様性の第一の劣化の危機は、開発と乱獲による種の減少と絶滅である。
 - (ウ) 生物多様性の第二の劣化の危機は、里地里山などの手入れ不足による自然環境の変化である。
 - (エ) 生物多様性の第三の劣化の危機は、外来種の持ち込みによる生態系の攪乱である。

④ 「世界で発生した公害」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) インド・ボパール市事故は、1984年ユニオンカーバイト社工場から流出したイソシアン酸メチルによるもので、世界最悪の化学工場での事故であった。
- (イ) セベソ事故は、イタリアのミラノ郊外のセベソの農薬工場の爆発によるもので毒性の高い硫化水素の飛散によるものである。
- (ウ) 1980年代、先進国で発生した有害廃棄物がアフリカの途上国に捨てられ、環境汚染を引き起こしたことから、1989年にバーゼル条約が採択された。
- (エ) 1978年アメリカのナイアガラ・フォールズ市で発生したラブキャナル事件は、化学工場から発生した埋め立て廃棄物から、有害物質が流出したことによるものである。

⑤ 「新エネ法（新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法）」に関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 「新エネ法」で定められている新エネルギーとは、再生可能エネルギーの内その普及のために支援を必要とするものを対象としている。
- (イ) 地熱発電（バイナリー方式に限る）は「新エネ法」の対象である。
- (ウ) 「新エネ法」では、太陽光発電及び太陽熱発電を対象としている。
- (エ) 「新エネ法」の対象である廃棄物発電は、化石燃料由来の廃棄物発電は対象としていない。

⑥ 「世界の国別CO₂排出量（エネルギー起源）」（2011年）に関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 中国のCO₂排出量は近年急激に増加しており、世界全体の約1/4を占めている。
- (イ) 中国、アメリカ、インドのCO₂排出量の合計は、世界全体の排出量の約半分を占めている。
- (ウ) EU27カ国の中でCO₂排出量が一番多い国はドイツである。
- (エ) 主要国の1人当たりのCO₂排出量を比較すると、アメリカが一番多く、次いで中国、ロシア、日本の順である。

⑦ 「環境効率」に関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 「環境効率」は、事業活動及び環境活動に関する効率性や両立性を図る指標である。
- (イ) 「環境効率」を測る指標としての「ファクター」は、「製品・サービスの価値／環境への負荷」で示される。
- (ウ) 「環境効率」の指標である「ファクター」では、資源やエネルギーの消費量を2分の1にして、生産量が2倍となる場合は「ファクター2」となる。
- (エ) 「環境効率」の活用にあたっては、組織の環境と経済の両面を評価するために妥当な指標であるかどうかについて、十分検討する必要がある。

⑧ 「循環資源の利用」に関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 製造業から排出される廃油、家庭や各産業から排出される廃プラスチック、廃ペットボトル等の化石系循環資源の循環利用率は、約76%であり、再資源化が進んでいる。
- (イ) バイオマス系循環資源は、廃棄物等発生量の約54%を占め、焼却や脱水による減量化率が高いのが特徴である。
- (ウ) 非金属鉱物系循環資源は無機物であり、性状的に安定していることから、循環利用率は約67%と高く約2/3が循環利用されている。
- (エ) 金属系循環資源は、従来から回収・再生利用のシステムが構築されており、発生量に対する循環利用率は約98%と非常に高くなっている。

⑨ 「日本の部門別エネルギー消費」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 1990年以降、産業部門のエネルギー消費は、ほぼ横ばいで推移していたが、2008年のリーマンショックで、消費量は大きく減少した。2010年には一時的に増加したが、その後は減少気味である。
- (イ) 運輸部門のエネルギー消費量は、自動車台数の増加により増加し続けており、全部門合計の約40%を占めている。
- (ウ) 業務部門のエネルギー消費量は、1990年以降増え続けていたが、リーマンショックで減少した。しかしその後はほぼ横ばいである。
- (エ) 家庭部門のエネルギー消費量は、1990年以降大幅に増加したが、2000年以降は、概ね横ばいである。

⑩ 「循環型社会形成のための法体系」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 環境基本法は、循環型社会形成推進基本法の上位に位置する。
- (イ) 資源有効利用促進法（資源の有効な利用の促進に関する法律）は、循環型社会形成のために必要な3Rの推進を図るものであり、特に事業者に対して3Rが必要な業種、対象製品を政令で定めている。
- (ウ) 小型家電リサイクル法（使用済み小型電子機器の再資源化の促進に関する法律）の対象物質は、金・銀・銅などの有用物質やレアメタルであり、鉛などの有害物質は対象でない。
- (エ) 家電リサイクル法の対象品目は、家庭用エアコン、テレビ（ブラウン管・液晶・プラズマ式を含む）、電気冷蔵庫・冷凍庫、電気洗濯機・衣類乾燥機であり、布団乾燥機は含まれない。

第4問（各2点×5問）

次の①～⑤までの問いにあてはまる文章の記号を1つ選び、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

①「IPCC第五次評価報告書」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア)「IPCC第五次評価報告書」では、人間活動が20世紀半ば以降に観測された温暖化の主な要因であった可能性が極めて高い(95%以上)としている。
- (イ)「IPCC第五次評価報告書」第2作業部会は影響・適応・脆弱性についての報告をまとめている。
- (ウ)「IPCC第五次評価報告書」第1作業部会での最大排出量シナリオでは、1986～2005年を基準とした2081年～2100年の世界平均気温は4.6～6.8℃、世界の平均海面水位は0.82～0.97m上昇する可能性が高いとしている。
- (エ)「IPCC第五次評価報告書」第1作業部会での低位安定化シナリオでは、1986～2005年を基準とした2081～2100年の世界平均気温は0.3～1.7℃、世界の海面水位は0.26～0.55m上昇する可能性が高いとしている。

②「森林によるCO₂吸収」に関する次の文章で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア)日本の国土は平地が少なく山が多いため、先進国の中でも森林率が大変高く約68%であり、1人当たりの森林面積も大変多い。
- (イ)森林認証制度の一環として、FSCロゴマークがあるが、これは適切な森林管理がなされている森林から生産された木材であることを示すものである。FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会)は、適切な森林管理を推進するためのNPOである。
- (ウ)二酸化炭素の森林吸収源対策として、わが国では健全な森の整備、保安林などの適切な管理・保全、国民参加の森づくり、木材・木質バイオマスの利用促進、都市緑化の推進が行われている。
- (エ)バイオ燃料の導入は、化石燃料を使わないという意味で温暖化防止対策として検討されているが、ブラジル等のバイオ燃料輸出国における森林減少が懸念され、長期的温暖化対策について、森林減少防止とセットで検討することが重要である。

③「モーダルシフト」に関する次の文章で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア)「モーダルシフト」のモーダルはモード（様式）を意味し、「モーダルシフト」とは、貨物や人の輸送手段の転換を図ることである。一般には自動車や航空機による輸送手段を鉄道や船舶に代替することである。しかし、鉄道や船舶による輸送から自動車や航空機に代替するのも一種のモーダルシフトである。
- (イ)トラック輸送を鉄道輸送や船舶の輸送にシフトした場合、単位輸送当たりの必要人員の削減が可能であり、少子高齢化に伴うトラック運転手の減少・過重労働等の緩和に有効といわれている。
- (ウ)トラック輸送から荷物を大量に運ぶことができる船の輸送に切り替えた場合、積替えに手間や時間がかかるという問題点があったが、トラックが船に直接乗り込み、荷台だけ切り離し輸送することで、スピードアップが可能となってきた。
- (エ)大量の貨物をトラックによる輸送から鉄道輸送にシフトすれば、単位輸送量に対するCO₂発生量は削減されるが、輸送にかかる時間が増えると共に、輸送コストが上がる懸念されている。

④「生態系の保全」に関する次の文章で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア)環境省による「レッドデータブック」とは、野生生物種の中でも絶滅やその恐れのある生物種のリスト（レッドリスト）に基づき、より具体的内容を記載したデータブックである。
- (イ)野生とは基本的に人が関与しない状態で、動植物が自然の状態であることを指している。都会に住みついたハシブトガラスは、直接餌付けをしているわけではないので、野生のガラスといえることができる。
- (ウ)人類がすべて全く同じ遺伝子をもっていたら、過去のスペインかぜのような世界的大流行（パンデミック）があった場合、人類は滅亡していたかもしれない。病原菌に対する抵抗力は、遺伝子の違いにより異なると言われている。
- (エ)「里地里山」とは、二次林を中心に田畑やため池、水路、草地などをもち、人里近くでヒトによる影響を受けた生態系があるところであり、主として1次産業の場所である。

⑤「EUの化学物質規制」に関する次の文章で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) EUの規制には規則と指令がある。規則は加盟国全般に等しく課せられるが、指令は原則各国の国内法で定める必要がある。指令は規則と同様な性格のものと、加盟国の事情において一部変更することが認められるものがある。
- (イ) WEEE指令（廃電気・廃電子機器指令）では、廃家電などの増加を防ぐためリユース、リサイクルを促進し、全ライフサイクルにわたって家電製品の環境パフォーマンスを改善することを目的としている。
- (ウ) RoHS指令は、加盟国に等しく課せられる指令であり、廃電気・廃電子機器に対して、有害化学物質の使用を全面的に禁止する指令であり、EUが輸入している製品に対しても適用される。
- (エ) REACH規則は、Registration（登録）、Evaluation（評価）、Authorization（認可）、Restriction（制限）of Chemicals（化学物質）の略称であり、予防原則の考え方、拡大生産者責任などの原則が底流にある。

第5問 (各1点×20問)

次の1～4までの問いの [] の部分にあてはまる最も適切な語句を、下記の語群の中から1つ選び、その記号を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

1. 「世界の人口」に関する問題

日本をはじめとして多くの先進国は、少子化による人口減少が懸念されているが、世界的には今後とも人口増加が見込まれている。国連の推計によれば、世界の人口は2013年時点で、約71億人であるが、2050年には [①] を超すと推測されている。

世界の人口増加の主原因は、開発途上国を中心とする人口急増である。既に成熟化した先進国は、特に対策を取らなくても人口は抑制されていく見通しである。人口抑制の要因としては、女性の [②] と働く女性の増加、結婚・出産に対する価値観の変化等があげられる。逆に人口が急増している開発途上国での人口急増の要因は、過去の多産多死から多産少死という現象があげられる。また先進国では既に人口増加に伴う [③] を遂げ、 [④] ・人口減少の方向に向かっている国が多いが、開発途上国ではこれから高齢化が進めば、経済活力が失われ成熟社会への道が遠くなることが懸念される。そこで、先進国の [⑤] が人口抑制につながると考えられる。

【語群】 (ア) 80億人 (イ) 90億人 (ウ) 100億人 (エ) 長寿命化
(オ) 高学歴化 (カ) 強大化 (キ) 経済縮小 (ク) 経済発展
(ケ) 少産多死 (コ) 少産少死 (サ) 人口移動 (シ) 経済支援

2. 「低炭素型社会の構築」に関する問題

「地球温暖化の緩和」に向けて、その原因である [⑥] の内、大きな割合を占める二酸化炭素の排出が少ない低炭素型社会を構築することが、世界的課題となっている。低炭素社会を実現するには、エネルギーを多消費する活動自体を減らすこと及び [⑦] 活動を実施することが重要である。さらに化石燃料由来のエネルギーから [⑧] へシフトすることも重要である。 [⑧] には、太陽光、太陽熱、水力、風力、 [⑨]、バイオマスなどの利用があげられる。製造業については、原材料の採取から製品使用後の処分まで一貫して二酸化炭素排出量を評価する [⑩] も導入されている。

【語群】 (ア) 窒素ガス (イ) 温室効果ガス (ウ) 省資源 (エ) 省エネルギー
(オ) 新エネルギー (カ) 再生可能エネルギー (キ) 水素エネルギー
(ク) 地熱 (ケ) 燃料電池 (コ) 地中熱 (サ) ヒートポンプ
(シ) LCC (ス) LCA (セ) LCCO₂

3. 「省エネ法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律）」に関する問題

省エネ法は、エネルギー資源の有効な利用を確保するため、工場・〔 ⑪ 〕、輸送、建築物及び機械器具について、エネルギー使用の合理化に関して定めた〔 ⑫ 〕である。

工場・〔 ⑪ 〕に関わる措置としては、第 1 種エネルギー管理指定工場に対し、省エネルギー中長期計画の策定、エネルギー使用状況の定期報告、〔 ⑬ 〕の選任・届出等を義務付けている。

輸送に関しては〔 ⑭ 〕、特定輸送事業者に対し、省エネルギー計画の策定・提出、エネルギー使用量及び省エネルギー措置の取り組み状況等の定期報告を義務付けている。

機械器具に関しては、家電等小売事業者に〔 ⑮ 〕基準対象のうちの 21 機器に対し、省エネラベル等により購入者に省エネルギー性能をわかりやすく情報提供することを義務付けている。

【語群】（ア）倉庫 （イ）事業場 （ウ）事務所 （エ）規制法 （オ）特別措置法
（カ）基本法 （キ）エネルギー管理員 （ク）エネルギー管理者
（ケ）特定卸売業者 （コ）特定荷主 （サ）新エネルギー
（シ）フロントランナー （ス）トップランナー （セ）パフォーマンス

4. 「CSR（企業の社会的責任）」に関する問題

CSRは「企業の社会的責任」と訳されているが、これは企業のボランティア活動や寄付活動などの企業の追加的活動を意味するものではない。「企業の社会的責任」とは、企業の活動そのものが社会へ与える影響に責任を持ち、あらゆる〔 ⑯ 〕からの要求事項に適切な意思決定をすることであり、〔 ⑰ 〕への取り組みは必須のものとして取り上げられている。

企業の経済活動には、〔 ⑯ 〕に対する〔 ⑱ 〕があり、これを果たさなければ社会的容認が得られず、社会に信頼されない企業は、持続が難しいと言われる。企業の社会的責任には、適切な〔 ⑲ 〕、法令順守が含まれる。

国際標準化機構（ISO）では、社会的責任は企業に限らないという見地から、社会的責任規格〔 ⑳ 〕を発行している。

【語群】（ア）購入者 （イ）ステークホルダー （ウ）株主 （エ）環境問題
（オ）経営問題 （カ）配当 （キ）社会貢献 （ク）説明責任 （ケ）投資
（コ）企業統治 （サ）環境会計 （シ）ISO14004 （ス）ISO26000
（セ）ISO9001

第6問 (各1点×20問)

次の1～4までの問いの [] の部分にあてはまる、最も適切な語句を考え、
解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

1. 「家庭を中心とした環境改善活動」に関する問題

環境に配慮した活動は、企業・組織の中での活動には限らず、家庭での活動も大変重要である。「LOHAS」は、アメリカで生まれたマーケティングコンセプトであったが、日本では「環境と [①] を志向するライフスタイル」と意識され、地球環境の [②] に関心をもち、 [①] 志向のライフスタイルそのものを指している。

また、スローライフは、効率優先の生活を見つめ直し、ものを大切にし、自ら創造し、 [③] を求める生活を意味しており、ファスト (fast) に対峙する言葉として使われている。

家庭で身近にできる環境配慮活動として、雨水の利用、生ゴミの堆肥化、待機電力の削減等がある。また消費者として商品を購入する際、環境配慮された製品を購入する [④] に心がけ、さらに自動車を運転する時はできるだけエコドライブに徹することも、省エネ及び [⑤] の削減につながると言われる。

2. 「地球環境問題と国際条約」に関する問題

地球環境問題への国際的取り組みは、国際条約によることが多い。条約は [⑥] にもとづいて成立する国際的合意である。

地球環境問題に関する主な国際条約には下記の条約がある。

地球環境問題	主な国際条約
地球温暖化	[⑦] 条約
オゾン層の破壊	[⑧] 条約
野生生物種の減少	[⑨] 条約
湿地環境保護	[⑩] 条約

3. 「企業倫理」に関する問題

倫理と法の違いは、倫理は [⑪] 的だが、法は [⑫] 的である。倫理は守るか否かは個人に委ねられ、法は守ることを要求される。組織で続発する「手順を守らない」「データの改ざん」「不適切処置」等は、法を超えた意識の問題である。そのような意識を醸成するために倫理がある。

企業の活動は、消費者やユーザーに大きな影響を与えていることから、企業には高い倫理性、倫理観をもって行動することが求められる。企業倫理は多種多様であるが、大きく次の項目があげられる。

- ① [⑬]：日本語では順守という意味であるので、法規制だけでなく、社会的規範や企業倫理、組織で決めたルール等を守ることも含まれる。
- ② [⑭]：企業の行動規範を示したもので、企業倫理のもととなるものである。
- ③ 専門家としての倫理：たとえば、[⑮]、建築家、教師等は、専門家として守るべき倫理がある。
- ④ 従業員のモラル：組織を動かしている従業員1人ひとりが社風をつくり、法を守り活動している。組織で働く人達には倫理に関する意識が重要である。

4. 「環境マネジメントシステムの共通原則」に関する問題

環境マネジメントシステムには、さまざまなシステムが存在するが、全てのシステムはISO [⑯] を原点としており、いくつかの共通点をもっている。

- ① 環境マネジメントシステムの要求事項の内容は、[⑰] サイクルに沿って構成されている。このサイクルは業務の進め方の基本であるともいえる。環境マネジメントシステムは、[⑰] サイクルを環境面で取り入れることにより、[⑱] 的改善が進むことを意図している。
- ② 環境マネジメントシステムは、環境パフォーマンスを改善するための仕組みであるが、特定の [⑲] の低減を求めているわけではない。何をいつまでに改善するかに関しては、組織が自ら定めることになる。
- ③ システムへの適合性は外部機関による認証で示せるが、システムによっては [⑳] で適合性を示すことができる。

第7問 (各10点×2問)

次の記述式問題 (1) 及び (2) に答えなさい。

- (1) 「循環型社会をいかに構築するか」について、下記語群の中の語句を選択し、自分の考え方を盛り込んで解答欄に記述しなさい。
すべての語句を使わなくても、語句を追加しても、また複数回使用してもよいが、少なくとも語群の5つ以上の語句を使用すること。使用した語句は、解答文中にアンダーラインを引いて示すこと。

【語群】 ① 循環型社会形成推進基本法 ② 3Rの推進 ③ 持続可能な発展
④ ゼロエミッション ⑤ 資源の消費量 ⑥ 適度な経済成長
⑦ 低炭素社会 ⑧ 資源の有効利用 ⑨ 再資源化 ⑩ 小型化
⑪ 資源有効利用促進法 ⑫ 軽量化 ⑬ サーマルリサイクル
⑭ 長寿命化

- (2) 「温室効果ガス削減に対する取り組み」について、下記語群の中の語句を選択し、自分の考え方を盛り込んで解答欄に記述しなさい。
すべての語句を使わなくても、語句を追加しても、また複数回使用してもよいが、少なくとも語群の5つ以上の語句を使用すること。使用した語句は、解答文中にアンダーラインを引いて示すこと。

【語群】 ① 人口爆発 ② 省エネルギー ③ 再生可能エネルギー ④ 原子力発電
⑤ 低炭素社会 ⑥ IPCC第五次評価報告書 ⑦ 気候変動枠組条約
⑧ COP21 ⑨ 地中貯留 ⑩ 森林吸収 ⑪ 水素社会
⑫ モーダルシフト